

ナガエツルノゲイトウ、 サツマイモ基腐病にご注意!

【問い合わせ】
農林水産課
☎ 0291-35-2111
普及センター
☎ 0299-72-0256

■ ナガエツルノゲイトウ (特定外来生物)

ナガエツルノゲイトウは、南米原産の多年草で繁殖力と侵略性の強い植物です。茎はちぎれやすく、節や根から活発に再生し、さらには水陸両生のため、畔や畑地にも侵入します。水田等の畦畔では刈り払いによって断片が農地に侵入するおそれがあるので、定着が見られる畦畔では除草剤中心の管理を行ってください。



市内の水田で「ナガエツルノゲイトウ」を見かけたら、刈り払いなどせずに、速やかに行方地域農業改良普及センター (TEL: 0299-72-0256) または行方市農林水産課 (0291-35-2111) までご連絡ください。

■ 育苗期のサツマイモ基腐病対策

サツマイモ基腐病対策では、侵入を防止するとともに、早期に発見し速やかに防除対策を徹底することが重要です。このためには、発生地域からの種イモや切苗を持ち込まず、苗の増殖には本病の対策が行われているウイルスフリー苗の使用を基本とし、種イモから増殖する場合には、栽培履歴など、由来が分かっている種イモを使用しましょう。また、採苗後は速やかに切苗の消毒 (下表を参照) をしましょう。

育苗中は、株の葉巻や萎縮、地際部の茎が黒くなっていないかなどを確認してください。上記のような症状が見られ、本病が疑われる株を見つけた場合は、その株を処分せずに、発生場所が分かるようにした上で、同じ育苗床からの採苗は行わないようにし、速やかに行方市地域農業改良普及センターに連絡をお願いします。なお、切苗を購入する際は、販売店にサツマイモ基腐病対策の有無を確認し、苗の消毒がされていない場合には消毒をしてください。さらに、採苗に使用したハサミや作業に使用した農機具、長靴などをこまめに洗浄してください。

<育苗中に見られるサツマイモ基腐病感染株の病徴>



株の葉巻、萎縮症状



茎の地際部の黒変

▼写真出典
生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業 (01020C)
令和2年度版マニュアル
「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」
https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138589.html

(参考) 「苗の消毒薬剤」 (令和4年2月9日現在)

使用薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法
ベンレート水和剤	500 ~ 1000 倍	植付前	1 回	30 分間苗基部浸漬

※薬液は使用する当日に調整したものを使用しましょう。
使用する前は、必ず農薬のラベルを確認して、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

行方市の人口



総数 32,763 人 (- 88)
男 16,409 人 (- 34)
女 16,354 人 (- 54)
世帯数 12,799 世帯 (- 22)
令和4年3月1日現在の住民基本台帳人口
※外国人住民を含む () は前月との比較

行方市民憲章 やさしい自然 かがやく人 わたしたちがつくる 魅力あるまち、行方市



市の花 ヤマユリ (山百合)



市の木 イチョウ (銀杏)



市の鳥 シラサギ (白鷺)